

東秩父村版スーパー・シティプロジェクト

～伝統と文化を後世に伝え、希望と安心に満ちた持続可能な村～

地域まちづくり計画

令和8年3月

東秩父村

取組の概要

まちづくりにおける課題

本村の人口は、昭和 35 年の 5,881 人(国勢調査)をピークに高度経済成長以後減少が始まり、平成 22 年 4 月に過疎地域の指定を受けた。その後も人口は減少し、少子高齢化が深刻化している。今後高齢化に伴う運転免許証の返納者も増加し、日常生活における移動手段が不足することも予想され、現在の公共交通サービスを維持し続けなければならない。

また、公共施設の老朽化や施設の狭あい化、バリアフリー対応、増大する保全費用等様々な課題の解消に向けて公共施設総合管理計画に基づく機能の集約化を図ることが求められる。

まちづくりの方向性

新庁舎建設と併せてコミュニティセンター機能を複合化し、上記課題の解消による「安全で快適な魅力あふれるにぎわい創出拠点」を目指す。

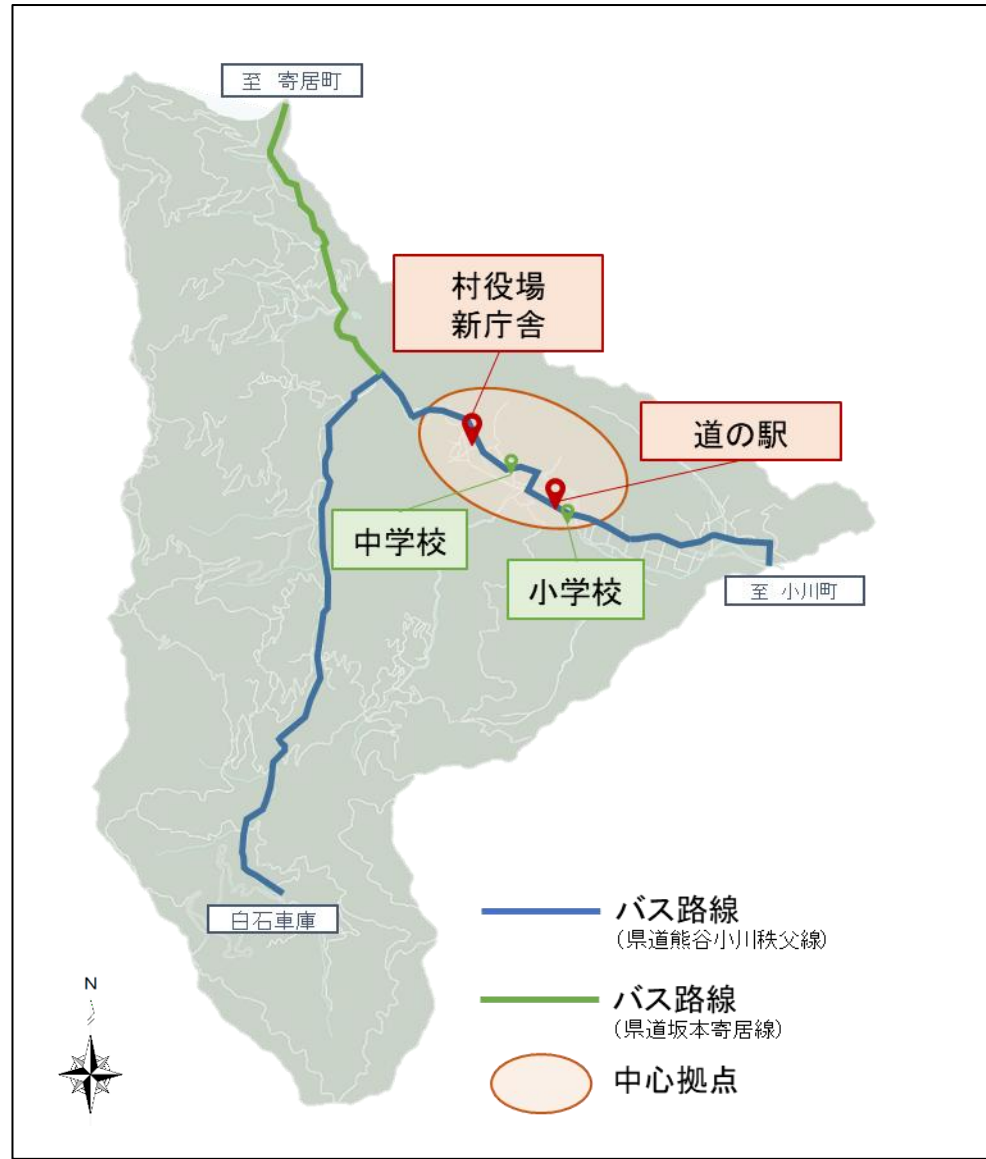
また、公共交通の維持確保の観点からは既存の路線バスと公共交通空白地有償運送の連携を強化するとともに、デジタル技術を活用した効率的かつ利便性に優れた体系を構築する。

更に、災害時でも途切れない電源を確保し、地域防災拠点を強化する。

他の計画における位置付け

- ・第6次東秩父村総合振興計画
- ・第3期 東秩父村まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・東秩父村地域公共交通計画
- ・東秩父村個別施設計画

対象地域及び区域(村全域)



地域の現況

人口・世帯の状況

東秩父村の人口は令和7年4月1日現在、2,385人（男性1,193人／女性1,192人）で、前年より60人（▲2.45%）の減少。特に65歳以上の高齢者が総人口の48%を占め、2人に1人が65歳以上という高齢化率の高さが目立つ。若年層（20～39歳）は304人と村全体の12.7%にとどまり、全国平均の21.0%を下回っている。世帯数は住民台帳ベースで1,042世帯（前年度比▲12世帯／▲1.14%）と、世帯数はおおむね横ばいもしくは微減傾向にあり、人口の減少と高齢化が課題となっている。

地域交通の状況

東秩父村は鉄道が走らない山間地域のため、生活の大部分を車に依存し、公共交通は路線バスとNPO法人ふれあいやまびこ会が運営する公共交通空白地有償運送のみとなっている。路線バスは隣接する小川町・寄居町へ接続されており、平成28年には道の駅和紙の里ひがしちちぶをハブ拠点とした路線バスの再構築を実施し、利便性の確保に取り組んだ。

高齢化率の上昇に伴い、今後運転免許証の返納者が増加することが予想され、路線バスと公共交通空白地有償運送の更なる連携を推進する必要がある。

開発の状況

本村の面積37.06平方キロメートルのうち、大部分が山林が占めており、まとまった平らな土地が少ない。そのため大規模な工場や住宅地の造成には適していないことから、大きな開発は行われていない。

村役場やコミュニティセンター、道の駅などの主要施設は、村の中心部に位置する御堂地区周辺に立地している。

地域資源

東秩父村は、埼玉県の西部に位置し、都心から約60km圏にある県内唯一の村である。清流や山林の自然環境と、平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録された手漉き和紙技術「細川紙」という世界に誇る伝統工芸を地域資源の核に据え、四季折々の花の名所やハイキングに多くの観光客が訪れる。

本村の中央に位置する道の駅は、観光拠点として機能し、紙漉き体験や産直野菜の直売所、江戸後期の紙漉き農家を移築した茅葺屋根の「細川紙紙すき家屋」や日本庭園があり、タイムスリップしたような風情を楽しむことができる。

また、埼玉県が運営する秩父高原牧場では動物とのふれあいや約1,200万本の咲き誇るポピーにより多くの観光客が訪れている。

まちづくりのコンセプトと事業全体の概要

まちづくりのコンセプト

役場周辺における公共施設の集約化やにぎわいの創出に取り組むとともに、ICT技術の活用や再生可能エネルギーの導入等を進め、村のありたい姿である「伝統と文化を後世に伝え、希望と安心に満ちた持続可能な村」の実現を目指す。

施設集約化を進める村役場新庁舎や観光拠点である道の駅は村の中心部に位置しており、施設間の連携や集約のメリットを最大限に生かし地域住民の交流や防災機能の強化を図る。

推進体制

当該地域のまちづくりを実現するため、村の最上位計画である総合振興計画の推進と連動し、「東秩父村総合振興計画等審議会」にて事業検証等を実施し、着実にプロジェクトを推進する。

【東秩父村総合振興計画等審議会構成】

東秩父村議会、農業委員会、行政区長会、民生・児童委員協議会、老人クラブ連合会、商工会、社会教育委員会、校長会、PTA連合会、埼玉りそな銀行、埼玉中央農業協同組合、イーグルバス株式会社、埼玉県(川越比企地域振興センター東松山事務所)、埼玉中央部森林組合、城西大学

事業全体の概要

【コンパクト】公共施設の集約による拠点形成とにぎわい創出

- ・役場周辺における公共施設の集約・複合化及びにぎわいの創出
- ・道の駅における公共交通拠点の強化
- ・地域おこし協力隊と連携した空き家対策や移住定住の推進
- ・小中学校再編に伴う教育機能等の集約

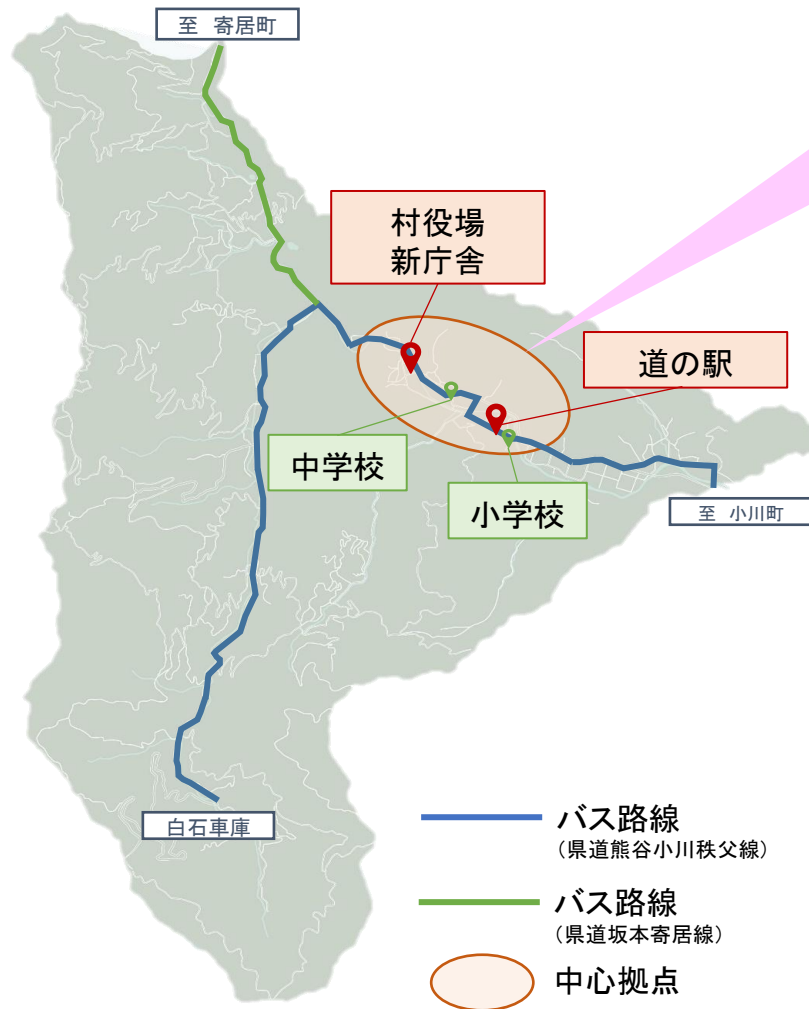
【スマート】ICT技術を活用した住民の利便性向上

- ・ICT等を活用した電子自治体の推進による住民等の利便性向上
- ・デジタル技術を活用した交通空白地有償運送の充実

【レジリエント】安全・安心で持続可能な村づくり

- ・自主防災組織の育成、防災体制の充実
- ・防災情報の発信手段の強化
- ・公共施設等における、再生可能エネルギー及び蓄電池の整備による災害時の電源確保

計画図



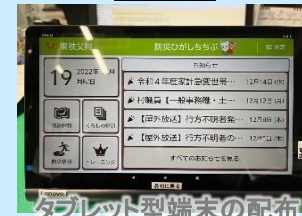
村役場新庁舎イメージ



道の駅バスターミナル

- ・役場周辺における公共施設の集約・複合化及びにぎわいの創出
- ・道の駅における公共交通拠点の強化
- ・地域おこし協力隊と連携した空き家対策や移住定住の推進
- ・小中学校統合再編に伴う教育機能等の集約

スマート



タブレット型端末の配布

- ・ICT等を活用した電子自治体の推進による住民等の利便性向上
- ・デジタル技術を活用した交通空白地有償運送の充実

レジリエント



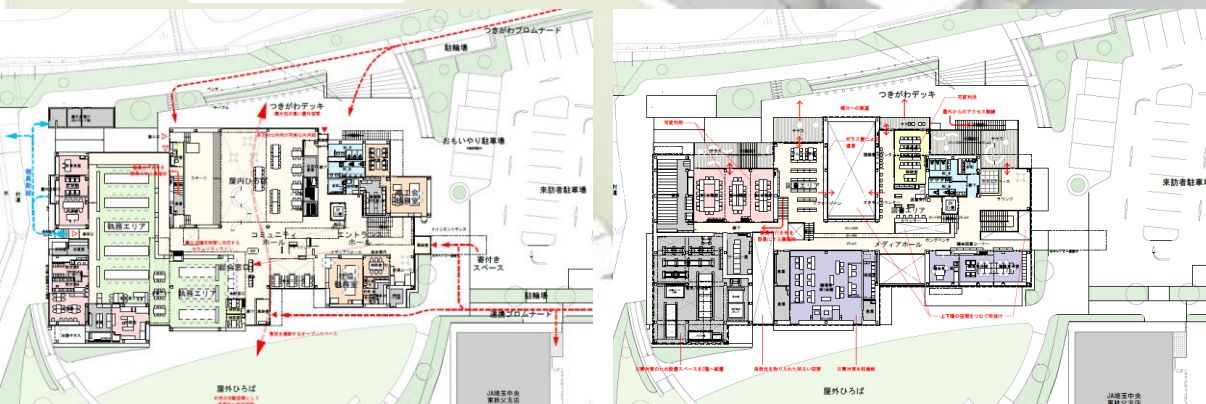
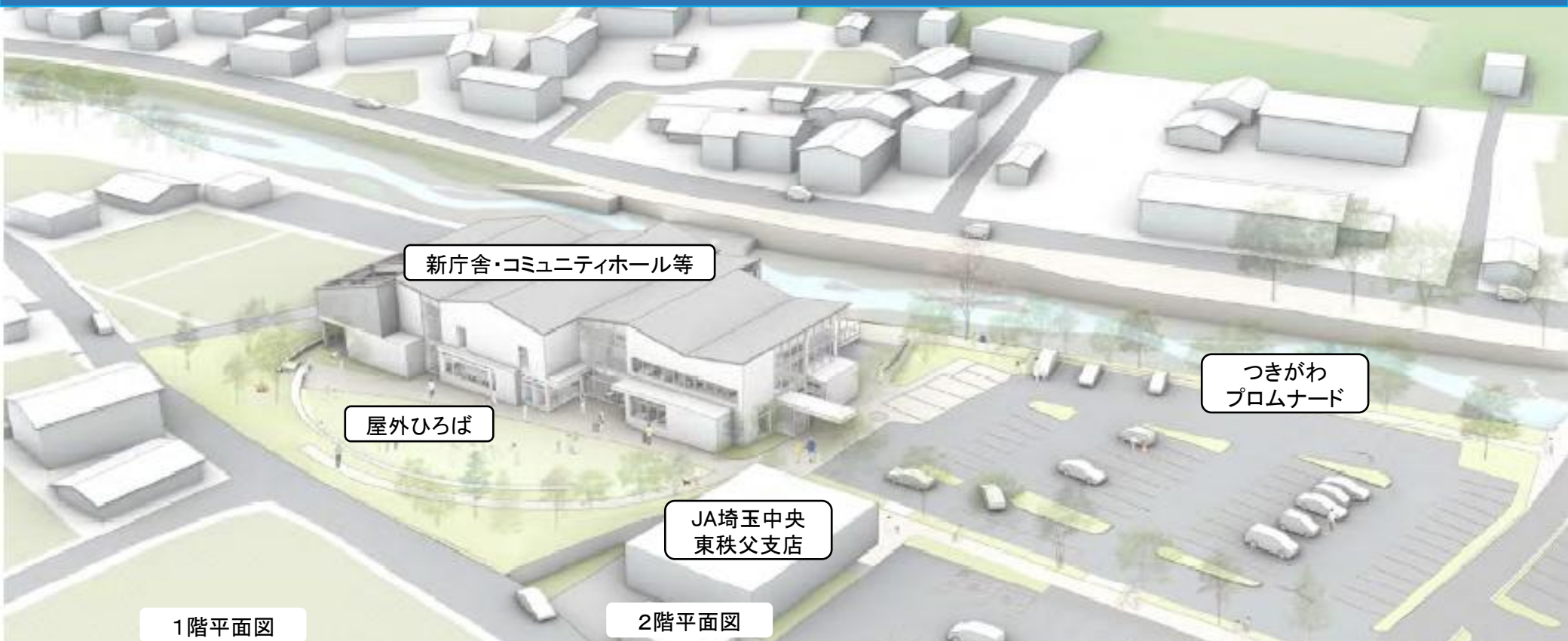
自主防災組織の育成



再エネの推進

- ・自主防災組織の育成、防災体制の充実
- ・防災情報の発信手段の強化
- ・公共施設等における、再生可能エネルギー及び蓄電池の整備による災害時の電源確保

新庁舎複合施設建設イメージ



KPI

コンセプト	指標	基準値(調査時点)	目標値(達成年度)	備考
全体共通	人口の社会減(全年齢)	▲31人/年 (令和5年度)	▲25人/年 (令和10年度)	「東秩父村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の指標に基づく
コンパクト	移住希望者に提供できる物件数 (累計)	1件 (令和5年度)	5件 (令和10年度)	「第6次東秩父村総合振興計画後期基本計画」の指標に基づく
コンパクト ・スマート	路線バス利用者数	61,935人 (令和5年度)	68,466人 (令和10年度)	「第6次東秩父村総合振興計画後期基本計画」の指標に基づく
スマート	ふれあいやまびこ会利用者数(公共交通空白地有償運送)	1,950人 (令和5年度)	2,111人 (令和10年度)	「第6次東秩父村総合振興計画後期基本計画」の指標に基づく
レジリエント	地区防災訓練参加者数	60人/年 (令和5年度)	368人/年 (令和10年度)	「第6次東秩父村総合振興計画後期基本計画」の指標に基づく